

啓伸塾 便り

7月(文月)
July基礎学力を重視する学習塾
啓伸塾
ただ今、新入塾生募集中

宿題の目的とその大切さ

なぜ、宿題があるのでしょうか。①家庭学習の習慣づけ ②学習の定着 そのどちらからです。①の家庭学習の習慣づけについては、いうまでもありません。学校の自主勉の目的もそれです。しかし、家庭学習の習慣づけだけでは、テストで点数が取れないことは、もう皆さんはわかっていることだと思います。

自主勉ノートを何も考えずに、ただカラフルに書いているだけの子がいまいます。そんな子は人一倍、時間を費やし何ページもノートを書いているにもかかわらず、テストで点数が取れません。こんな子に限って、「私は一生懸命時間をかけ勉強しているのに点数が上がらない。」といっています。今回の中間テストの結果から、自分は正しい勉強法ができていくかわかると思っています。

勉強とは、新しいことを覚え、それを使って問題を解けるようにすることです。解ける問題が増えてこそ学力は高まります。学力は学習量に比例します。ただし、やってはいけない勉強法があります。それは、一度やってできたことを繰り返す、ただノートを埋めるだけの勉強です。これをいくらやってもテストの点数は上がりません。

正しい勉強法については、今までいろいろと、この場でお伝えしてきました。その中から、自分に合った勉強法を身につけてください。

塾の授業は学校の授業と連動しています。英語・数学(小学校は国語・算数)は、その子の学習スピードにもよりますが、塾の授業が学校より少し先を行くようにしています。つまり、学校の授業が復習になるようにしています。

科学的に証明された最強の記憶術(勉強法)を紹介

勉強に役立つ道具は、「真っ白な一枚の紙」。何を言っているのかと思われるかもしれませんが、しかし、何も書かれていない紙こそ、最高の道具だということは、科学的にも証明されています。

勉強で教科書の内容を覚えようとするとき、多くの人が学生時代から続けている一般的な学習法が、繰り返し読む「再読」でしょう。残念ながら、科学的に見ると再読は学習効果が低いことが証明されています。2回目以降の再読は本の内容に慣れているため、理解を深めたり記憶を強めたりする脳の情報処理が行われにくくなると考えられています。

では、科学的に見て記憶に定着しやすい勉強法とはどんな方法なのか。それは、「白紙に向かって、勉強したことを思い出しながら書き出す」という勉強法です。勉強で覚えた内容を自分から、能動的に思い出すことを、専門的には「アクティブリコール」と呼びます。情報は脳にインプットするだけでなく、その情報を脳からアウトプットすることで、記憶に定着することがわかっています。

このアウトプットを効果的に行うのが、「アクティブリコール」です。記憶を思い出す手がかりが少ない状態のほうが、学習効果が高いことがわかっています。空欄問題や多肢選択問題を解くより、手がかりなしに記憶から情報を引き出す方が、脳への負荷が高く、記憶への定着が促される可能性があります。「白紙に向かって思い出す」勉強法は、脳に負荷をかけるためです。

右に、そのやり方を説明します。特に今回の中間テストで目標点数が取れなかった子は、是非ともこの勉強法を試してみてください。

プレジデント
どんどん本が読めるようになる
より

白紙に向かって思い出す「白紙勉強法」の手順

手順①
覚えたことを元の情報を見ないで書き出す

ポイント1
あとに残すためのものではないので書き殴りでOK

ポイント2
覚えにくいものは声に出しながら書く(プロダクション効果)

ポイント3
誰かに教えているフリをしながらアウトプットする(プロデジエ効果)

手順②
わかっていないこと、忘れていることについて教科書を見直し情報を確認する

手順③
①と②を交互に繰り返す

手順④
時間を置いてまた①～③を繰り返す

夏休みの取り組み

◆小学生

算数は、夏休みまでの復習、特に文章題、国語は、漢字と読み取り問題、後半は、ともに学校の予習をします。

◆中学生

中学1・2年生は、夏休み明けに行われる期末テストの勉強を行います。理科・社会は、今までの塾の教材を使っの復習を行い、どれだけ理解したかの理解度テストも行います。国語は、読み取り問題を中心に行います。そして、英語、数学は、期末テスト対策教材を使って学習を行い、これも理解度テストを単元ごとに行います。また、過去問題にも取り組みます。中学3年生は、例年通り入試に向けての夏期講習を昼間、夜は通常授業を行います。前期の内申点は、併願で受験する私立高校の唯一の点数になります。今までの、一番大切なテストです。休み明けのテストでの目標は自己ベストです。今までで一番の頑張りを期待します。

◎前期期末テストの範囲は、夏休み前に行われた中間テストの範囲が7割を占めます。範囲表を確認してください。このテストのやり直しも、ここに載せた勉強法で、是非とも実行してください。これがベストのテスト勉強法です。保護者の方のご家庭でのご指導をお願いいたします。

8月の予定

塾の夏休み8月12日(火)～18日(月)です。ご予約下さい。
中3生の夏期講習は上記の期間中も行います。

義務教育の内容は学習方法の習得であつたり、学習能力の基礎であつたり、社会的に自立していく土台になるので本当に大切だと思います。

これは、陰山英男先生 陰山メソッド(百ます計算などの学力向上のためのプリント)の考案者で、もと公立小学校の教師 現在 立命館大学教授の言葉です。

この学習能力の基礎を築くには、家庭学習の習慣づけが不可欠なのです。

また、社会人になってからも、家庭学習の習慣は必要です。高度化していく今の現代、仕事に求められる専門的知識はどんな仕事でも必要です。これらは、仕事をしながら身につくことではありません。常に勉強しなければ、ついていけません。

塾の宿題は、塾でやった問題と同じ問題です。(パターントレーニングといつて、やり方が同じ問題です)。この宿題を自分で考えて解いて初めて学力となり、テストで問題が解け、点数が高くなるのです。

どんなに頭のいい子でも、一回では覚えられません。繰り返しやるのが学力の定着になります。繰り返しやることによって、覚えたことが頭に定着し、学力が高まるといえます。そのための学校・塾での勉強です。そして、何より欠かせないのが宿題です。

学校や塾で新しいことを覚えます。そして、覚えた知識を使って問題を解きます。覚えただけの知識は頭に定着しておらず、すぐには、問題は解けません。先生に教えてもらい解けるようになります。しかし、自力で解いたのではないので、まだ自分の学力にはなっていません。